

草道ことぶき会（薩摩川内市）

発表者：岩 元 實 義 氏

皆さん、こんにちは。草道ことぶき会の岩元でございます。

草道ことぶき会について説明いたします。

薩摩川内市の川内駅から国道3号線を北へ、阿久根、出水方面に向かって8キロの位置に水引町、水引地区コミュニティ協議会があります。6つの公民館から成り、草道公民館に草道ことぶき会の組織があります。会員は、55歳から92歳まで、男性40名、女性46名、計86名の構成であります。

健康、友愛、奉仕の精神にのっとり、お互いに助け合い、支え合い、語り合って、寝たきりのない健康で生きがいのある地域社会を目指しております。

主な活動について、説明いたします。

1つ目、自治会等行事への積極的参加について、その1からその4の4つに分けて説明いたします。

毎年12月、世代間交流餅つき大会では、長年の経験を生かした高齢者が積極的に参加し、臼、杵での餅つきは、杵を振り上げてつく人、混ぜる人との息が合って、安全な作業となります。小学生、子どもたちにも杵を握らせ、安全に指導・体験させております。混ぜる人も経験豊かな高齢者が当たり、つき上がりの餅は慣れた手つきでもろぶたへ。小さくちぎって、あんこを入れた丸餅にもみ上げる作業、この時が小さい子どもたちにとって最も楽しいひとときでもあります。その後、参加者全員で頬張り、あるいは持ち帰ったり、高齢者宅へ配られております。

その2。毎年5月下旬、水引小学校全児童による芋植えの手伝いを実施。1年生から6年生まで各クラスごとにマルチ張りされた畝に分かれ、植え方の指導や質問に答える。児童生徒たちとの意思疎通、対話も楽しいひとときとなります。今年度は、学区統廃合に





よって5つの小学校が水引小に合併となり、芋植えは中止となりました。

その3。グラウンド・ゴルフについては、水引地区コミュニティ協議会主催の3世代交流大会、公民館主催の親睦大会には進んで参加、にぎやかな対話が弾むときであります。初めて、ボール、スティックを握るという子どもでも、楽しそうで上達も早い。草道

ことぶき会のグラウンド・ゴルフは、毎週水曜日8時開催、ラジオ体操で始まり、健康づくりに大いに役立っております。まれのラジオ体操でも続けると、最近体調が良いとラジオ体操の効果が聞かれます。

その4。敬老の日にあっては、高齢者を招待される行事が一般的であります。草道ことぶき会では、みずから企画した、三味線、太鼓、踊り、カラオケ、宴会を準備、公民館からいただくお祝いの弁当を持ち寄り、公民館の協力を得ながら、「草道ことぶき会主催」として公民館共催の形で全世帯に呼びかけ、酒を交わし、3時間は瞬く間に過ぎる盛大な行事となっております。

2つ目、国道沿いの空き地の2カ所約60平方メートルに花壇を造成して、景観美化に向け、春・秋の年2回、花苗移植管理作業を実施しております。水引小学校前バス停横と、それより500メートル先のお墓の横にあり、多数の花が満開で、間もなく秋冬に向けた移植時期を迎えております。1年を振り返りますと、平成25年度1年間に要した作業日数は60日間、延べ500人の作業となりました。

戸外作業では、お茶やジュースの提供が通例であります。が、神社清掃を除いて、飲み物等は一度も提供なしで来ました。特に、真夏の頃の作業は、暑さを避けて朝6時作業開始と周知しますが、さらに早くから作業を開始され、皆さんの力を合わせてご協力いただけてきました。昨年度末、初めて、ことぶき会独自のポイント制創設。30分を1点として、飲み物に代わる心ばかりの粗品進呈と



支援活動記録票 (支援担当者)			
月日	年	月	日
支援を受ける人			
支援内容			
所要時分			

支援内容は簡潔に (ごみだし、草払い、掃除・・・)
 所要時分は10分単位で (10分、20分、30分・・・)
 (10分以内は10分と記入)
 団体活動は記入不要
 提出先・各理事まで

なりました。今後は、善処してまいりたい
 と思っているところであります。

3つ目、高齢者並びに一人暮らしの生活
 支援について。

都会地に限らず、地方においても人の
 つながりが疎遠になりがちで、特に高齢者
 の一人暮らしが急増しており、65歳以上

高齢者の3割が単身者と言われています。単身者のひきこもりを防ぐためにも、積極的な声
 かけ、お手伝いをする。例えば、ごみ出し、掃除、雑草むしり、犬の散歩、買い物、その他
 困ったことがございましたら遠慮なく近くの会員までお知らせください。会員で対応できな
 いときには、受け持ちの理事へ連絡し、誰かが対応します。支援実施した場合は、支援活動
 記録票に簡記していただく。年度末にまとめ、心ばかりの粗品進呈といたします。

4つ目、草道元気会、元気サロンについて。

原則一人暮らしの会員を主体に、毎月第1木曜日9時30分から11時30分までコミ協に集
 まっていただき、認知症予防に向けたゲーム、例えば7つの違い探し、暗算による足し算・
 引き算、歌、折り紙、生け花、料理その他を取り入れ、前頭前野、海馬と呼ばれる脳活性化
 ゲームで遊び、その後、お茶とおしゃべりで楽しいひとときを過ごしております。

併せて、ひきこもりがちの会員を励まし合って呼び出し、近くの満開の花園を散策して花
 の観賞に大いに満足され、大勢での花の観賞は認知症予防に効果が大と言われております。
 つい先般は、新しく開設された高速船甕島棧橋まで足を延ばし、10分間の許可を得て船内
 見学となり、健康づくりを兼ね、大きな収穫との声でありました。これら戸外歩きなら、ま
 たどこか是非お願いしたいと、要望が上がっております。引きこもり防止対策の上からも有





効であり、急ぎ実施したいと既に計画も整っているところであります。

5つ目ですが、私たちの町に若宮神社、射勝神社の2社があり、昔から地域住民の生活の心の拠り所として崇拝されております。毎年、若宮神社では招魂祭、神社例祭、射勝神社では家庭の平安、五穀豊穡を願い、薩摩川内市指定の無形文化財「次郎次郎踊り」が奉

納され、大勢の観光客が訪れています。毎年9月20日を両神社の清掃の日と決め、双方に分かれて実施していますが、今年は9月20日、21日、雨のため、つい先日実施となりました。

薩摩川内市では、高齢者に対して「お出かけ支援助成券」を支給しておりましたが、この制度は今年度をもって終わり、これにかわって「介護予防ボランティア元気度アップ事業」がスタートしました。これは、一定の奉仕作業等で1時間に1スタンプの制度で、一人では微々たる力で動きにくいことでも、組織としてなら大きな力となり、また、参加しやすい。これが一定の活動、ボランティア奉仕活動に参加している証として、組織拡大に向け大きな力になると期待をしております。元気度アップカードの押印欄は、既に満杯の人が多数おられます。

最後になりますが、現在、高齢者クラブ会員増強運動5カ年計画が全国一斉にスタートしました。耳に入る情報では、会員増は厳しいと聞きます。私は就任以来、このことについて常に関心を持って進めてまいりました。薩摩川内市が進めている元気度アップカードの活用で、ボランティア参加と組織拡大への道がさらに縮まり、容易になったことを申し上げたい。草道ことぶき会活動は、未熟にして道も半ばでございますが、決して止まることのないようさらに努力し、前進しなければなりません。

最後に、草道ことぶき会年間行事計画遂行に当たり、会員の皆様の力を合わせた絶大なご協力に対して深く感謝申し上げ、終わりいたします。

ご清聴ありがとうございました。(拍手)